

新たなグリーンホールの整備について



調布市グリーンホールは、昭和52年の開館以来、市民が質の高い文化芸術に触れる機会や活動・体験する場として、長年にわたり多くの方に親しまれながら、利用されています。

一方で、施設・設備の経年劣化やバリアフリーへの対応などが課題となっているほか、利用者ニーズや時代の変化を踏まえた機能の改善が必要となっています。

こうした施設の課題への対応や、調布駅前に新たな賑わいを創出するため、総合福祉センター敷地を含む現敷地における、新たなグリーンホールの整備に向けた取組を進めています。また、整備に当たっては、市の公共施設を取り巻く課題を踏まえ、民間活力の活用を検討しています。

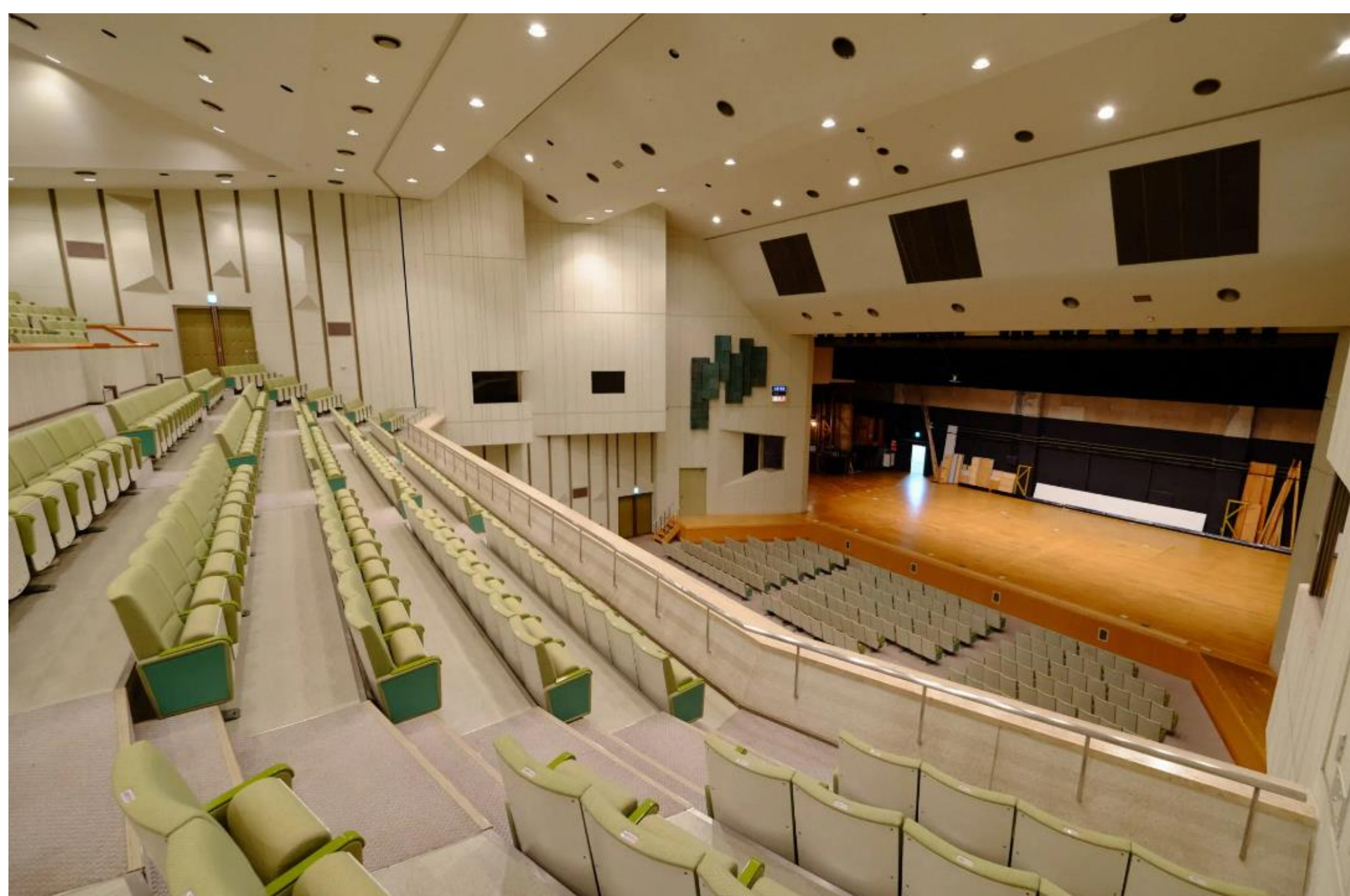
なお、整備後の施設については、市民の文化芸術の拠点となるホール機能を核として、調布駅前広場に隣接した立地を最大限に生かしながら、調布のまちの魅力を高める複合施設としていきたいと考えています。

新たなグリーンホールの整備に向けて、ホール機能や新たな複合施設に期待する機能について、市民の皆様のご意見を伺いたいと考えています。

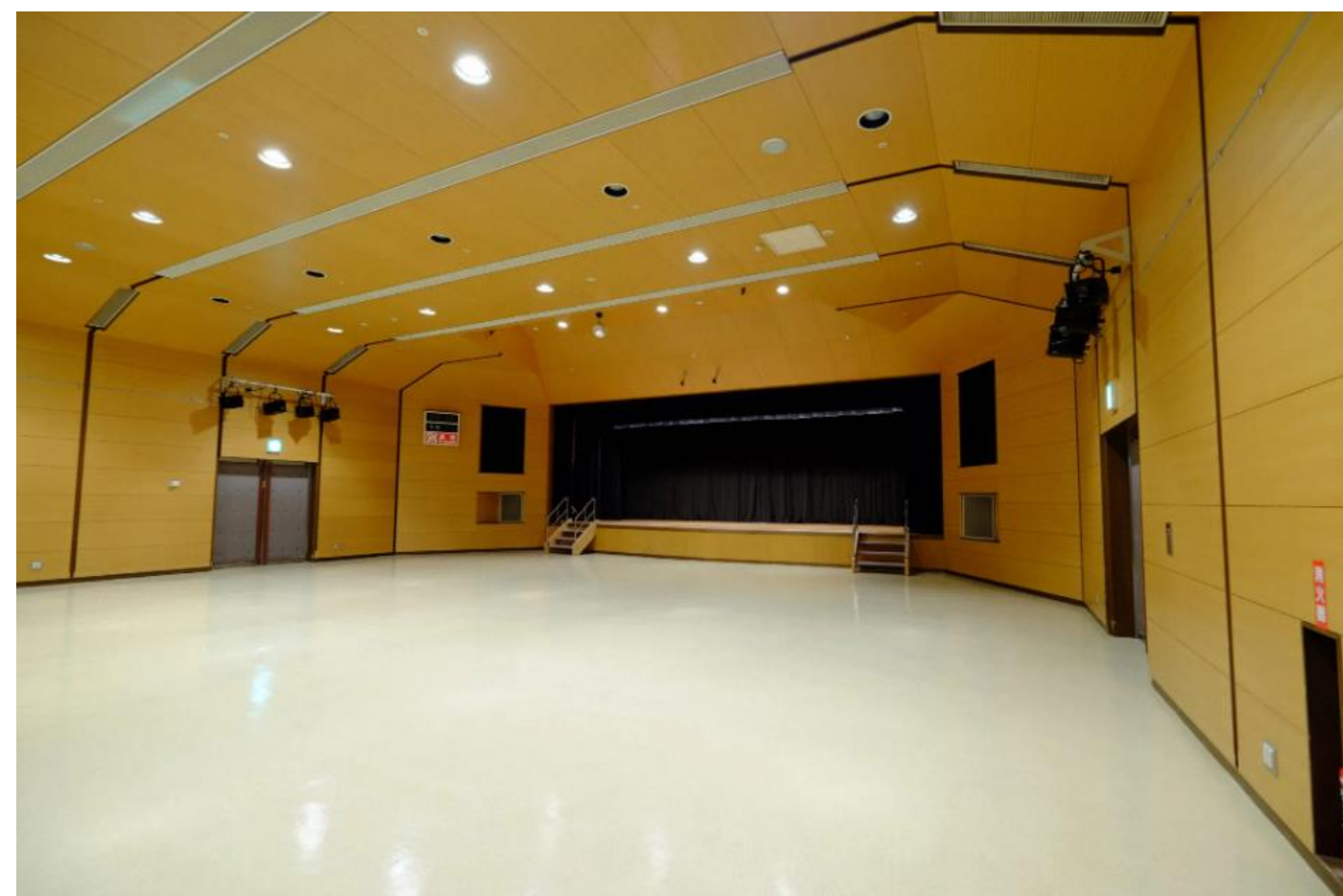
調布市 行政経営部公共施設マネジメント担当
生活文化スポーツ部文化生涯学習課

※ この『取組説明パネル』の内容に対応したアンケートをご用意しています。
ぜひ、本パネルをご覧になりながら、ご意見をお寄せください。

パネル① 現在のグリーンホールについて



【大ホール】



【小ホール】

【施設の全体概要】

建築年度	昭和52（1977）年度	築年数	築46年	敷地面積	4513㎡ 総合福祉センター敷地含む
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	建築面積	2763㎡		
階数	地上5階地下1階	延べ床面積	7288㎡		
指定管理者	(公財) 調布市文化・コミュニティ振興財団				

	大ホール	小ホール
用途	音楽、演劇、オペラ、式典、講演等	音楽、演劇、美術展、式典、講演等
舞台	間口18m、奥行14m、高さ9m	間口10m、奥行4m、高さ3.2m
諸室	楽屋5室、リハーサル室1室	楽屋1室
客席	1307席 (1階877席、2階430席)	300席(移動型)

【その他施設概要】

事務室	(公財) 調布市文化・コミュニティ振興財団
ロビー	1階エントランスロビー 2階ホワイエ等
喫茶室	1階レストラン (現在閉店中)

昭和52年に建設した「調布市グリーンホール」は、大小2つのホールを有し、「調布国際音楽祭」や「映画のまち調布シネマフェスティバル」など調布ゆかりの文化資源を活用した独自事業をはじめとする、**質の高い文化芸術に身近に触れることのできる場**として、また、市民の皆さんの**文化芸術の発表・創造の場**として、多くの方に幅広く利用されている文化施設です。

パネル② 現在のグリーンホールについて（つづき）

○グリーンホール建設の経緯

現在のグリーンホールは、昭和49年3月に策定された「調布市総合計画」に、その建設が位置付けられています。

当時、調布市内には、質の高い優れた文化芸術を本格的に鑑賞できる機能が備わった施設がなかったことから、市民の文化水準の向上を図るとともに、芸術性の高い豊かな情操と創造性を養う機会が得られるよう、優れた文化芸術を鑑賞できる場や、市民の自発的な文化芸術活動に活用できる場など、多様な文化施設を市民の身近なところに整備していくことが重要な課題であるとしたうえで、新設する市民福祉会館内に、音響効果や照明など高度な機能を備えた市民ホールを新設することが定められました。

○建設当時から『文化の向上』を設置目的に掲げる

「調布市市民福祉会館」として建設された当時のグリーンホールは、その設置根拠となる「調布市市民福祉会館条例」の中で、施設を設置目的に『市民の文化の向上』を掲げています。

建設当時、各自治体の類似施設の設定条例には、文化施設を含む公共施設全般について、設置目的に『福祉の向上』を掲げるものが多く、当初から「文化の向上」を目的に掲げた条例は先進的なものでした。

調布市市民福祉会館条例

（平成6年に調布市グリーンホール条例に全部改正）

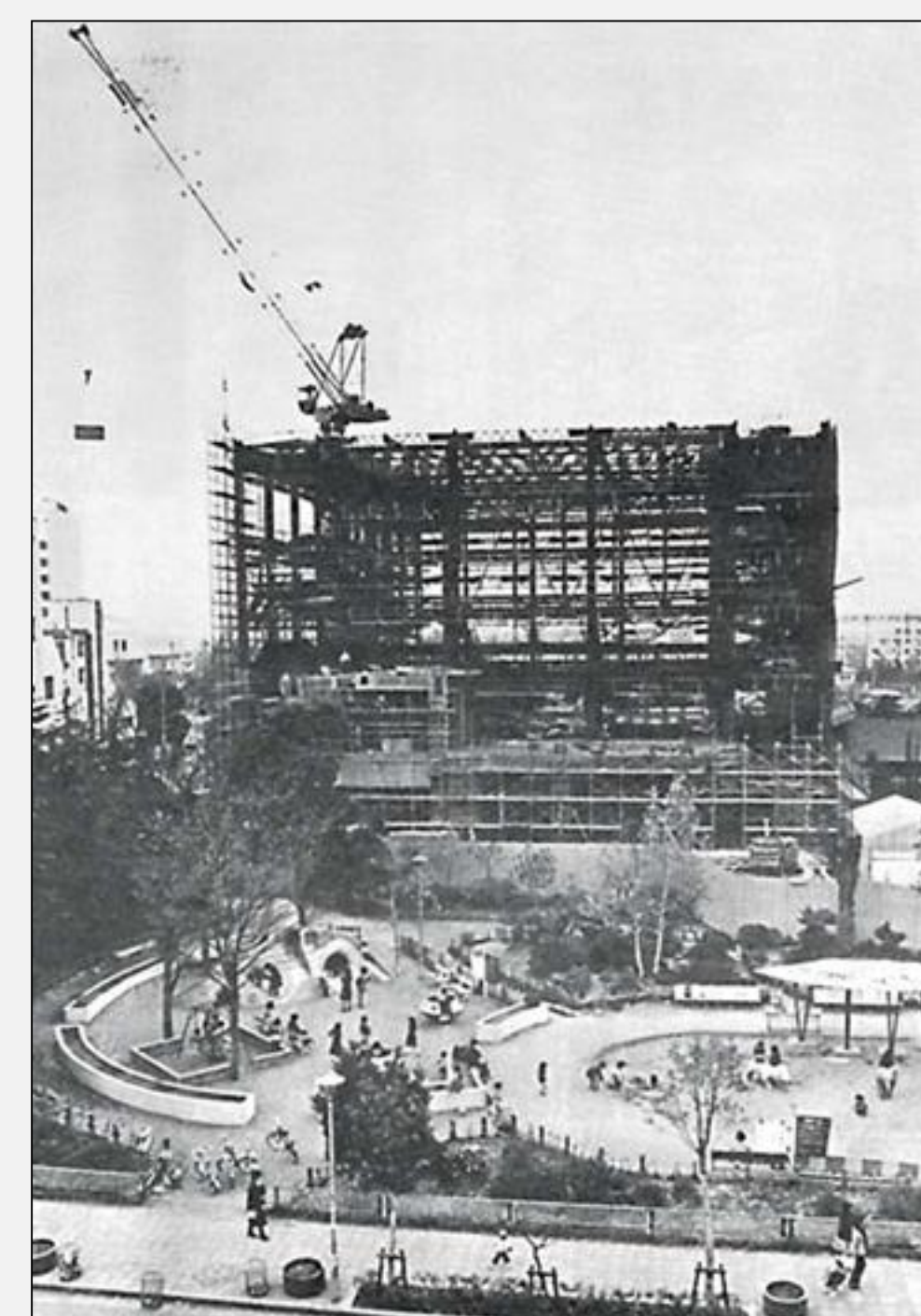
第1条（設置）

市民福祉の増進と文化の向上に寄与するため、調布市市民福祉会館を調布市小島町2丁目47番地1に設置する。

○文化芸術の拠点であるホールに求められるもの

文化芸術の拠点であるホールの役割や機能は、変わらないものもあれば、時代の変化に応じて新たに求められるものもあります。

近年建設された他自治体の事例を参考に、今グリーンホールに求められている役割や機能を整理していく必要があります。



グリーンホール新設時の様子

パネル③ 調布市グリーンホールのあゆみ

1977年（昭和52年）

調布市市民福祉会館 竣工
グリーンホール開館こけら落とし「あやつり三番叟」

1978年（昭和53年）

調布市成人式（以降グリーンホールで実施）

1979年（昭和54年）

「カックラキン大放送!!」等テレビ番組の公開収録

1980年（昭和55年）

小澤征爾オータムコンサート
松山バレエ団「ジゼル」

1981年（昭和56年）

松竹大歌舞伎公演
NHK交響楽団演奏会

1982年（昭和57年）

劇団四季公演「コーラスライン」



開館時の様子



こけら落とし公演

1987年（昭和62年）

開館10周年記念番組開催
小澤征爾と新日本フィル スプリングコンサート
リチャード・クレイダーマン スイートコンサート ほか

1993年（平成5年）

中村絃子ピアノリサイタル



中村絃子ピアノ
リサイタル

1997年（平成9年）

グリーンホール20周年記念事業
宇崎竜童 & R・U CONNECTION with 井上堯之
能と狂言の夕べ（野村万作，観世喜之ほか） ほか

1998年（平成10年）

読売日本交響楽団「運命の響き」

2001年（平成13年）

和泉元彌狂言の世界

2006年（平成18年）

保育付き公演スタート

2007年（平成19年）

グリーンホール開館30周年記念事業
バッハ・コレギウム・ジャパン「メサイア」
三夜連続落語会 ほか

2010年（平成22年）

バッハ・コレギウム・ジャパン協定事業スタート
ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会2010

2013年（平成25年）

鈴木優人氏をエグゼクティブ・プロデューサーに迎え、
新生「調布音楽祭」をスタート

2014年（平成26年）

桐朋学園オーケストラ協定事業スタート
ラグビーW杯パブリック
ビューイングの様子

2017年（平成29年）

調布音楽祭を「調布国際音楽祭」に改称

2018年（平成30年）

グリーンホール40周年事業「歓喜の第九」
佐藤しのぶソプラノリサイタル
サンクトペテルブルグ国立舞台サーカス ほか

2019年（令和元年）

ラグビーワールドカップ2019
（パブリックビューイング）

2022年（令和4年）

調布国際音楽祭が10回目を迎え、
NHK交響楽団等が出演

ディズニー・オン・クラシック
まほうの夜の音楽会2010

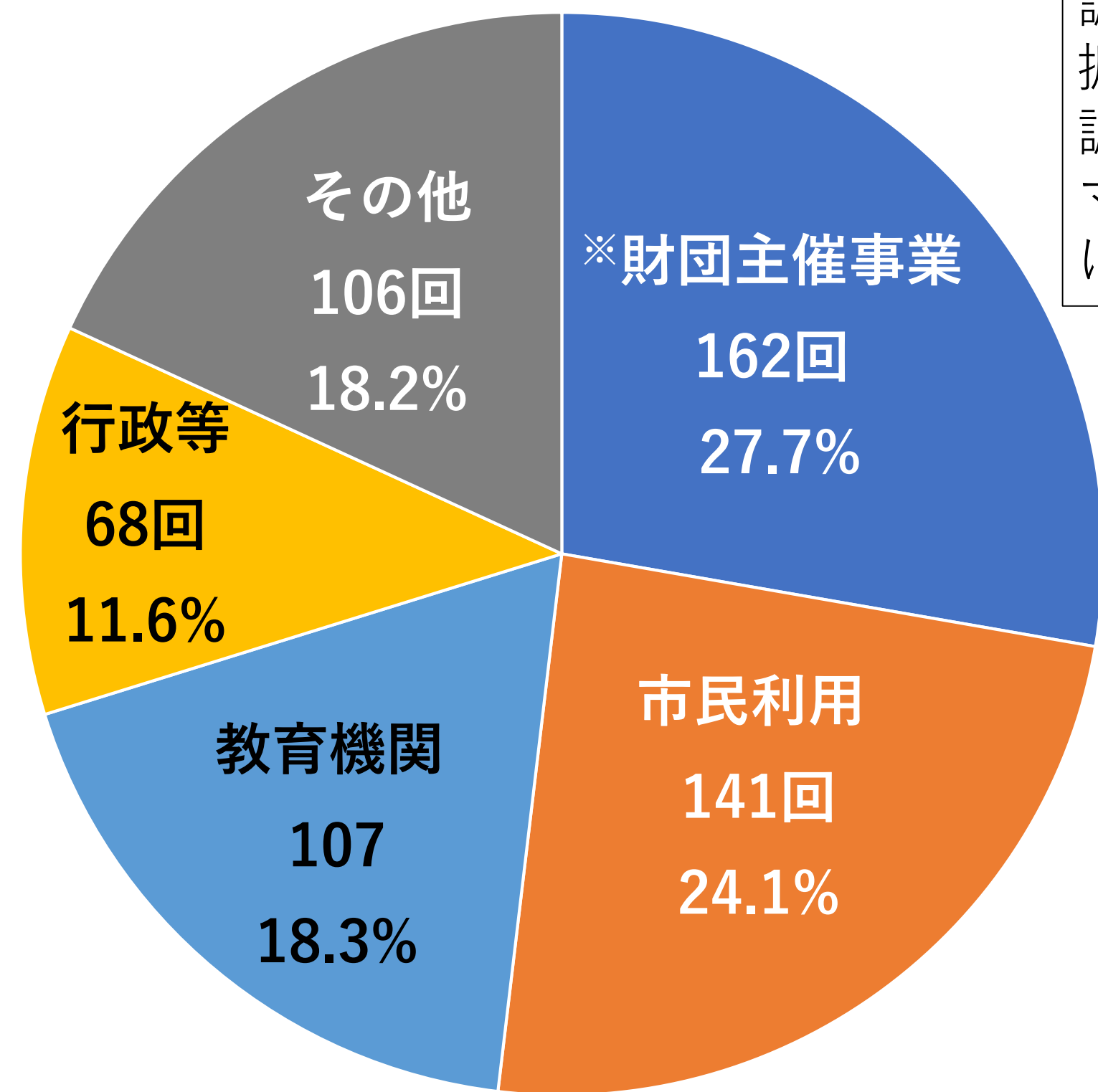


調布国際音楽祭2022

パネル④ 施設利用状況（グリーンホール・大ホール）

(H29～R1)

利用団体の内訳

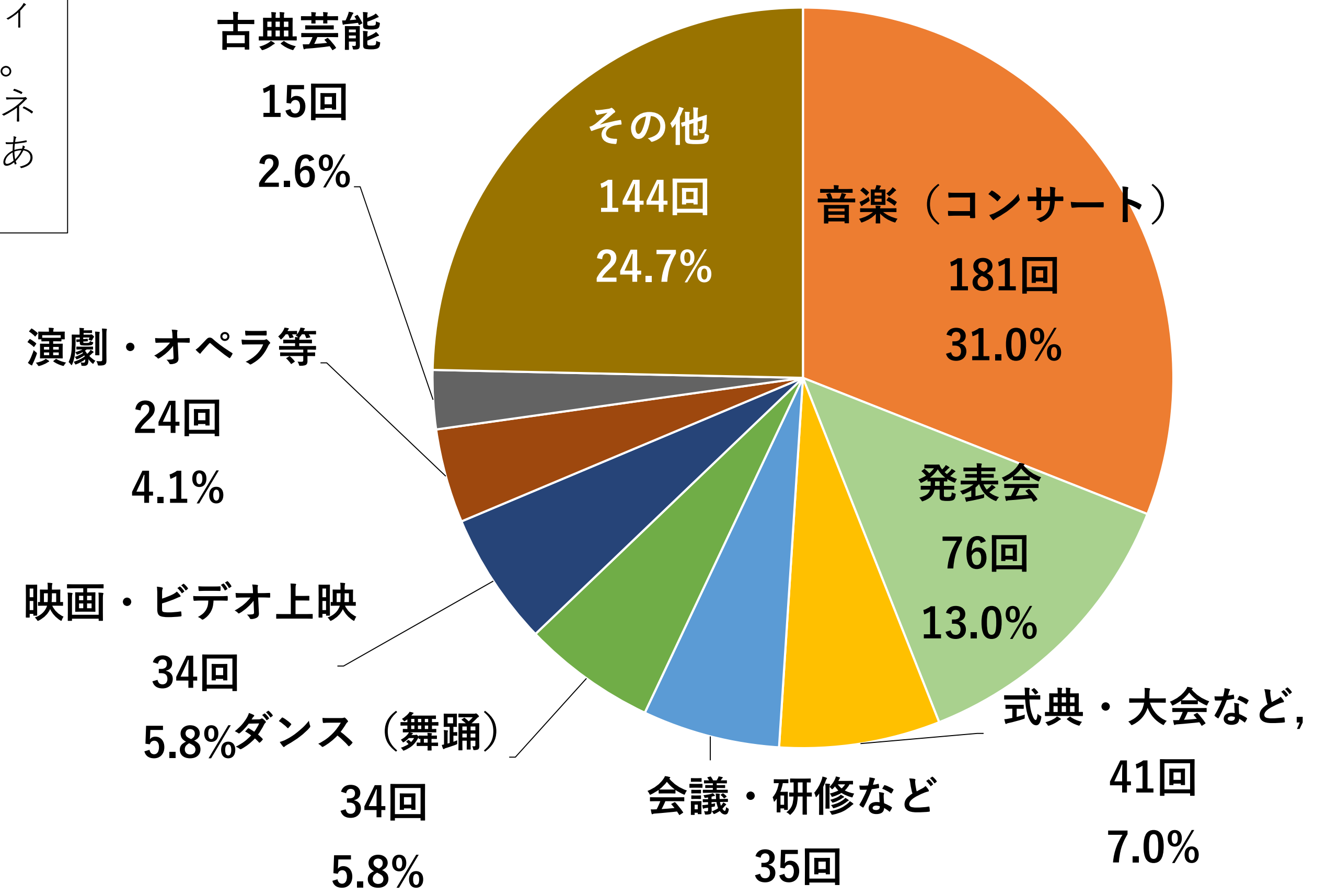


*財団主催事業
指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が主催する事業。調布国際音楽祭や調布シネマフェスティバルなどがあげられる。

※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計584回）」の内訳

- 財団主催事業と市民利用が合わせて半分以上の利用を占めており、**市民の鑑賞の場**であるとともに、**市民の文化芸術の発表・創造の場**となっています。

利用目的の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計584回）」の内訳

- 音楽（コンサート）、発表会での利用をはじめ、**広く多目的に利用**されています。

大ホール利用率

R1	84.8%
H30	92.0%
H29	91.6%

- **「鑑賞の場」「発表の場」の両面の役割**を果たしており、毎年約9割という**高い利用率**を示しています。

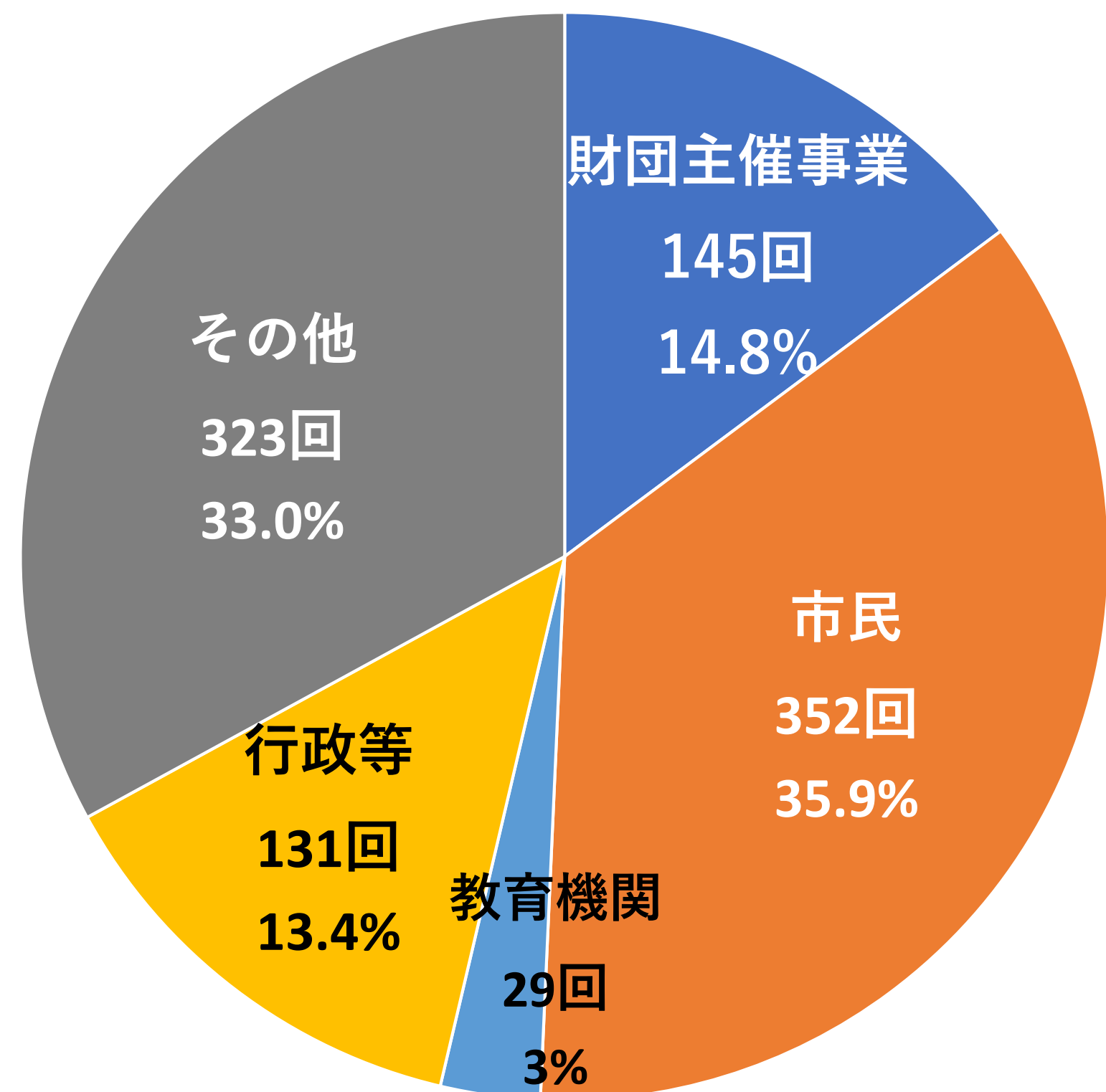
※令和元年度については、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から3月の利用が少なく、例年よりも利用率が下がっています。

※「利用率」＝利用日/開館日
開館日…休館日と終日保守点検日を除く日

パネル⑤ 施設利用状況（グリーンホール・小ホール）

(H29～R1)

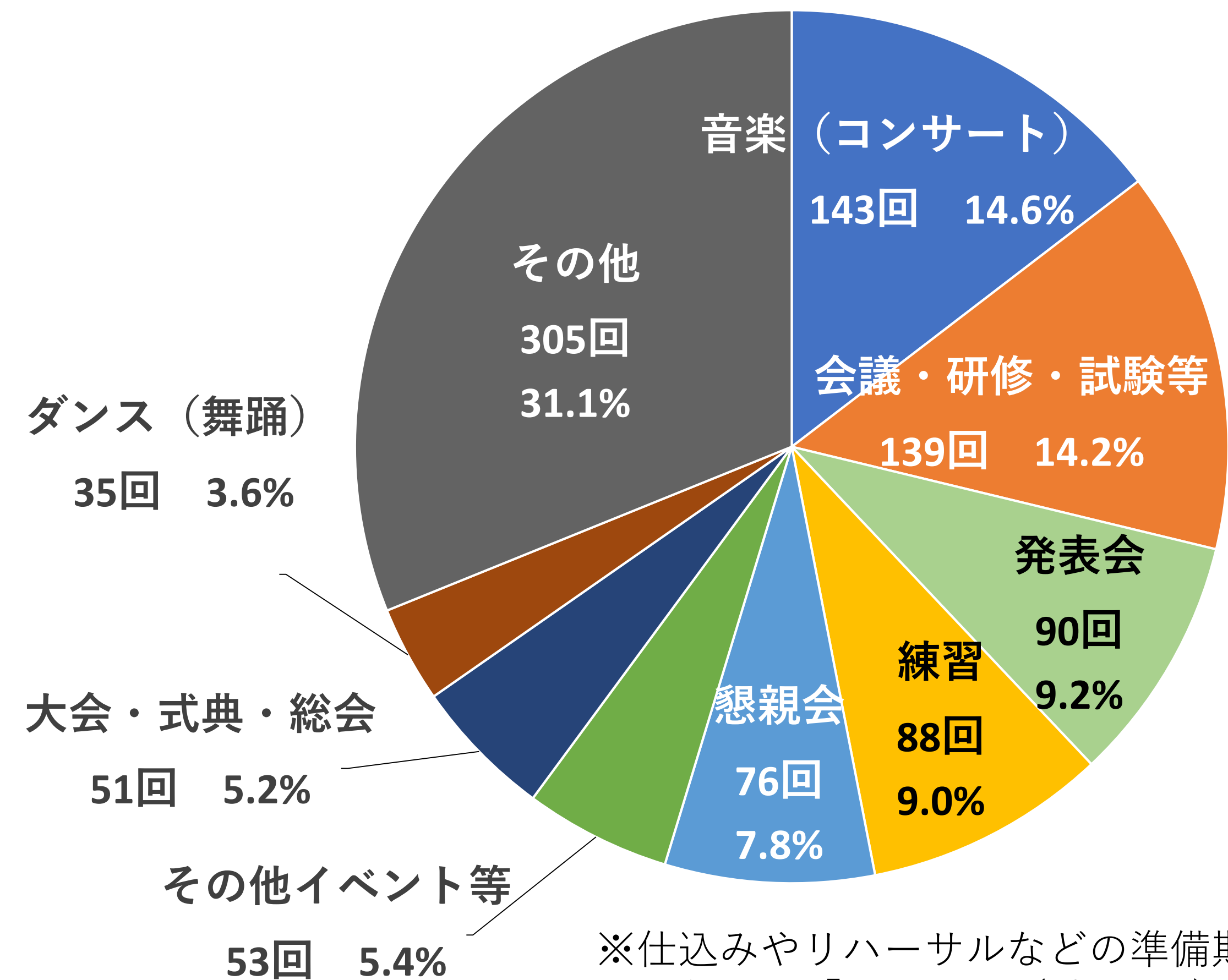
利用団体の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計980回）」の内訳

- 市民利用が最も多く、**市民の文化芸術活動の場**としてコンサートや発表会などに多く利用されています。
- **練習場所**としての需要も担っており、多くの人々が活動する団体や事業で利用されています。

利用目的の内訳



※仕込みやリハーサルなどの準備期間を除く、3か年分の「本番利用（計980回）」の内訳

- 音楽（コンサート）や発表会の利用及び練習のほか、会議や研修など**広く多目的に多用途に利用**されています。

小ホール利用率

R1	83.7%
H30	97.0%
H29	93.2%

- **多目的に利用**されているホールであり、毎年約9割という**非常に高い利用率**を示しています。

※令和元年度については、主に新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から3月の利用が少なく、例年よりも利用率が下がっています。

※「利用率」＝利用日/開館日
開館日…休館日と終日保守点検日を除く日